

第482回（12月定例）福崎町議会

福崎町長 橋 本 省 三

皆様 おはようございます。

第482回福崎町議会定例会を開催しましたところ、全員のご出席をいただきありがとうございます。

今年も残すところ20日余りとなりました。年年歳歳人同じからずと言いますが、この1年を振り返りますと、昨年引き続き全国的に自然災害の多い年でした。

地震災害においては、6月に発生した大阪北部地震で、登校中の児童が倒壊した学校のブロック塀に巻き込まれ犠牲となりました。9月の北海道の地震では、いたるところで土砂崩れが発生し、多くの民家が押し潰されました。風水害では、平成最悪の水害といわれた7月豪雨、また、7月下旬からは台風が毎週のように上陸し、日本各地のいたるところで災害をもたらしました。特に台風21号では、強風による高潮で関西国際空港が数日間閉鎖に追い込まれました。また、各地で電柱などの送電線が多数損壊し、近畿地方だけで225万戸の大規模停電を起こしました。

幸い本町では大きな被害はありませんでしたが、いつ想定外の大災害が発生するかわかりません。各地で起こる災害の教訓を胸に、自助、共助、公助の役割を住民と共有できるよう、防災訓練の充実や広報等による啓発など、万全の対応で進めていく所存です。

今年、忘れてはならないのが7月中旬の連日の酷暑です。小1児童が校外学習から学校に戻り、その後に熱中症で亡くなるなど各地で熱中症が多発しました。今議会に上程した補正予算では、小中学校の空調設備整備費を追加し、全学年の普通教室等すべてに空調設備を設置いたします。また、ブロック塀の撤去費用の助成についても計上させていただきました。

さて、福崎駅前では、観光交流センターの骨組みができあがり、いよいよ駅周辺の施設整備が目に見える形で進んでまいりました。5年という限られた期間で、ほぼ計画通り推進できたのは、議員の皆様をはじめ多くの住民の熱意が後押しとなり、要望活動の成果としてここまでこられたことをうれしく思っています。年が明けると次々と各施設が完成します。駅前観光交流センターは駅周辺の人々の交流の核として、辻川観光交流センターや移築復元する旧辻川郵便局は、辻川界隈の歴史文化を活用した観光と文化の核として、町の活性化に大いに寄与してくれるものと信じています。施設がオープンすると、新たな駅前、辻川界隈が誕生します。そして、来年は、町民あげて、駅前と辻川の新たな門出を祝いたいものです。

これらの駅周辺整備や防災事業をはじめとした工事の入札にあたっては、最低制限価格制度を取り入れ品質の確保を図っています。しかしながら、公共工事が減少し低価格入札が増加しています。このような状況は企業経営の圧迫や、下請け・資材業者へのしわ寄せなど工事の品質低下につながる恐れもあることから、適宜見直しを実施する方向で進めておりました。この度、社会情勢や近隣市町の動向を踏まえ、最低制限価格において一定の引き上げを行いました。今後も状況を踏まえ柔軟に対応していきたいと考えています。

インフルエンザの流行が心配される時期となってきました。これからもまだまだ寒くなります。高齢者の皆様をはじめ中学3年生までの子どもたちには、予防接種の助成制度があります。是非この制度を利用し、この冬を乗り切ってもらいたいものです。

各課からの事業報告です。

【総務課】

平成30年度職員採用試験の第2次試験を11月15日に実施しました。一般行政職は9名が受験し、合格2名、補欠合格3名、不合格4名。保健師は1名が受験し、合格1名となりました。

嘱託・臨時職員の募集については、町広報誌、区長文書回覧などでお知らせしていますが、採用募集受付を12月21日から28日まで行います。なお、試験日は1月11日です。

選挙人名簿登録者数は、12月1日の基準日現在、男性7,498人、女性8,154人、計15,652人となっています。前回の9月基準日より2人の減となっています。

【企画財政課】

平成31年度予算編成指示会議を11月12日に開催しました。職員には予算編成方針について「福崎町財政をみると非常に厳しい状況であるが、持続可能な財政運営を堅持していかなければならない。その中でも、選択と集中の徹底を図るとともに、住民の皆様のニーズを的確に把握し、応える、安全安心なまちづくり、すこやかな社会づくりへの取り組みに向け予算組みするように」と指示をしました。

総合計画の見直しにつきましては、基本構想の修正案並びに後期基本計画の原案を作成し、総合計画審議会に諮っています。今後、議員各位にもご意見をいただきながら、策定していきたいと考えています。

【地域振興課】

11月4日、第45回福崎秋まつりと、ひょうご森のまつり2018を同時開催しました。兵庫県荒木副知事や遠野市飛内副市長をはじめ、町内外からもたくさんの方をお迎えし、商工会を中心とした産業祭や公民館クラブ活動発表会、食育イベントなど、住民の方が主体

となつてつくるまつりを多くの人に楽しんでいただきました。

第5回『全国妖怪造形コンテスト』は、台湾のほか全国各地から一般部門 166 点、ジュニア部門 42 点、合計 208 点の応募がありました。審査は造形分野の専門家並びに町関係者などの審査員によって行い、入賞作品を決定します。なお、結果は、本日造形コンテストのホームページで公表します。

【住民生活課】

10 月 19 日、第 26 回全国消防操法大会が富山県広域消防防災センターで開催され、福崎町消防団 庄分団が「小型動力ポンプの部」に兵庫県代表として出場し、準優勝というすばらしい成績を収めました。11 月 18 日にはエルデホールにおいて多くの来賓のご臨席をたまり祝賀会を開催しました。

消防団非常呼集訓練を 11 月 11 日早朝に実施し、秋季全国火災予防運動による町内防火パレードを実施しました。

第 29 回自然歩道を歩こう大会を 11 月 23 日、東コースで実施し、天候にも恵まれ町内外から 1,335 人の参加がありました。

12 月 1 日から 10 日まで、年末の交通事故防止運動を展開し、各種のキャンペーンを実施しています。

12 月 26 日から 30 日まで、消防団年末特別警戒を実施します。また、消防団出初式を来年 1 月 13 日に田原小学校で開催します。

【健康福祉課】

老人グラウンドゴルフ大会を 10 月 25 日に開催し、42 チーム 252 人の参加があり、盛大に実施することができました。

11 月 17 日と 18 日に、まちぐるみ健診未受診者を対象に、後期の特定健康診査とガン検診を実施しました。国保の特定健診は、人間ドックも合わせて 1,222 人が受診され、受診率は 38.3%となりました。

【農林振興課】

10 月 14 日に田口の新池でため池教室が開催され、町内外の小学生・中学生 22 名とその保護者らが参加しました。実際にため池の中に入って、泥だらけになりながら魚を捕ったりして、ため池の仕組みや生息する生き物について学習しました。

10 月 19 日、市川町保健福祉センターで神崎郡農業委員会協議会の研修が開催され、「地域に根差した農業委員会活動について」と題した講演に、郡内農業委員約 70 名が参加しました。

12月1日、第16回銀の馬車道ため池ウォーキングが、西光寺野土地改良区の主催で姫路市農業振興センターを会場に開催され、約160名の方が奥池・長池、銀の馬車道など各史跡を巡る約11kmのコースを歩きました。

【まちづくり課】

福崎町橋梁長寿命化修繕計画に基づく定期点検の実施や長野橋、七種川橋外の補修工事を、内水対策事業では、町道大貫山田線の中国自動車道アンダーボックス部分の冠水対策を進めます。また、公共交通網形成計画に基づき、再編したコミュニティバスのサルビア号等の利用増を図るとともに、空き家の適正な管理に関する条例に基づき、危険な空き家の所有者等に対する指導や空き家の利活用を進めます。

福崎町東部工業団地の拡張については、農振農用地の除外にむけ関係機関と調整を進めています。

【上下水道課】

水道事業では、施設の耐震化を目的に工業団地配水池の更新工事を進めています。また、西大貫地区において、送水管更新跡の舗装本復旧工事に着手しました。委託業務については、水道事業の健全な経営と安全安心な給水を持続するため、今後10年間を計画期間とする水道事業ビジョン・経営戦略の策定を進めています。

下水道汚水整備事業では、長目地区コミュニティプラントの公共下水道への切替工事及び福崎企業団地において下水道管敷設跡の舗装本復旧工事を進めています。また、委託業務として、福崎浄化センター施設の延命化を検討するため、ストックマネジメント計画の策定を進めています。

雨水整備事業では、川端雨水幹線の市川放流口の工事に着手しました。また、南田原地区の浸水被害を軽減するため、昨年度に引き続き、川すそ雨水幹線の工事を実施します。委託業務については、川すそ川上流部の詳細設計及び直谷第2雨水幹線の事業化に向けた手続きを進めています。

【学校教育課】

11月22日に第1回福崎町長寿命化計画策定検討委員会を開催し、実態把握と基本方針の案を提示しました。今後は施設整備の優先順位、コストの見通しを検討していきます。

「第2期子ども・子育て支援事業計画」策定においては、11月末に「就学前の児童及び小学生児童」の全保護者を対象にアンケートを配付、年末までにアンケートを回収し分析を進めます。

【社会教育課】

歴史民俗資料館で、明治150年を記念し、特別展「明治の福崎～福崎の近代化と明治の人々」を開催し、明治期の福崎地域の歴史をふりかえるとともに、その時期活躍した福崎ゆかりの人物も紹介しました。

大庄屋三木家住宅では、7代当主・通深に焦点を当てた「三木家好学の当主 三木通深」と題した特別展示をおこないました。

第6回柳田國男ふるさと賞の入賞作品を集めた「福崎子どもふるさと展」を、10月30日から12月9日まで、柳田國男松岡家記念館で開催しています。

老人大学祭を11月10日、11日に文化センターで実施し、各部の展示や記念式典、演奏会がおこなわれました。

人権・青少年健全育成フェスティバルを、明日、エルデホールで開催します。小中学生の体験発表や、作家で僧侶の家田莊子さんに「一緒に生きて行きましょう～生きるということ～」と題した講演をしていただきます。

平成31年成人式を、来年1月14日の成人の日にエルデホールで実施します。現在、成人式に向け、実行委員会で準備を進めています。

さて、今議会に提出した議案は17件です。

(略)

人事案件1件、条例改正3件、条例制定5件、補正予算7件、その他1件の全17件となっています。詳細説明は副町長ほか担当課長が行いますので、ご審議賜りご賛同いただきますようよろしくお願い申し上げます。冒頭あいさつといたします。